



先日、「全国教育・保育研究大会」に参加しました。その中で助言者である大学の先生が「動画等を長時間見ている子は、ずっと受け身で一方通行なので、発信する力が養われない」と仰っていました。

泣いている子にスマホを見せれば泣き止むし、しばらくの間じっと静かに見ることが出来てしまうので、身近にあるスマホは親としては「便利で都合が良い」のかもしれませんが、しかし、感じたことを言葉で表現できず、自分の言葉で自分の事をしっかり伝えられなくなるという跳ね返りが生じます。これは、人との付き合いや将来の仕事にも影響し「生きにくさ」にも繋がります。

お仕事や家事で忙しい毎日とは思いますが、寝る前の数時間、ごはん中…など、まず大人がスマホから手を放して、子どもたちの声を聴いてみることから始めてみましょう。今しか聴けない、こども達のかわいい「つぶやき」をキャッチして、楽しく親子のコミュニケーションができると良いですね。

園長 清水節子



8日(月)～12日(金)

個人面談：すみれ組

15日(月) 食育指導：ゆり・すみれ組

16日(火) 内科健診

19日(金) クリスマス礼拝：ゆり・すみれ・さくら組
＋観覧希望のゆり組の保護者の方

24日(水) お誕生会：ゆり・すみれ・さくら組
＋対象クラスのお誕生月の保護者の方

太字→保護者参加行事

お知らせ

・1月24日(土)の
みんなの食堂は、園の都合により
中止になりました。

・12月28日(日)～1月4日
(日)は保育園もお休みです。
留守番電話での対応となります。



クリスマス

クリスマスは『キリストの誕生日』と捉えられる事がありますが、それは正確ではありません新約聖書にはキリストが産まれた日は明記されておらず、馬小屋で産まれたとだけで正確な誕生日を特定する手段はなく、あくまでもキリストが降誕したことをお祝いするのが『クリスマス』となります。

クリスマスにはプレゼントがつきものですが、なぜ靴下に入れるのでしょうか？
聖ニコラウスが貧しい家に金貨を投げ入れ、たまたま暖炉のそばのあった靴下に入ったことからプレゼントは靴下の中に入れるという流れになったようです。
今年も沢山の笑顔でクリスマスが迎えられますように…☆

